

重大事故を予防するチェックポイント

・・・食う

寝る

## 水遊び

園外保育

## 水遊びには監視者 - こどもから目を離さない

徹底した安全対策



## 監視体制の確立

監視者が監視に専念できる  
体制作り

## 緊急時への対応

心肺蘇生法・AED 操作研修  
緊急時の応援体制の確立  
(シミュレーション研修)

## 乳幼児の特性とリスク

10 cmの深さでも溺れること  
がある  
～こどもは静かに溺れる～

★安全を最優先に考え、  
十分な監視体制が確保できない場合は、プール活動を中止する！

●監視体制の空白が生じないように監視を行う者と  
プール指導を行う者を分けて配置する



## 監視者とは

プールサイドのこども達と遊んだり  
プール指導者の補助をしたりせず、  
**監視に専念する者**  
○話しかけない ○頼まない

★



「監視者」の目印等  
を決める  
・ビブス  
・タスキ  
・キャップなど

役  
割

- プールサイドからプール全域（水面と水の中）をくまなく監視する
- プールに参加している子どもの人数を把握し、確認を適宜行う
- 動かない子どもや不自然な動きをしている子どもを見つける
- 特定の子どもに目線を固定せず、個々の特性を理解し、規則的に目線を動かしながら  
全体を監視する 異常かどうかの見極めは、顔（特に目）を見る
- 持ち場を離れる時は、代わりの職員を配置する
- 子どもが全員プールからあがるまで目を離さない

## チェックポイント①

### 1. 事前管理

#### ★ 監視者は配置できるか

- 水遊び（プール遊び）のマニュアルの確認
- 慢性疾患等の配慮を必要とするこどもへの対応の確認
- 当日プール活動ができないこどもへの対応の確認
- 排泄が自立していないこどもへの対応の確認
- プールに入る人数の確認（人口密度を少なくする）

## チェックポイント②

### 2. 気象情報による活動実施の判断

#### ★ プール遊びができる環境か

#### ＜判断基準＞

- 水温+気温=50度未満又は65度以上
- 暑さ指数31以上
- 光化学スモッグ警報発令のとき
- PM2.5の注意喚起のとき
- 雨天、強風、雷

#### ★ ひとつでも当てはまる場合、 プール遊びは中止とする

暑さ指数31以上は、「運動は原則禁止」とされているため。  
水遊び・シャワーなどについては各施設で判断する

## ★ 【運動に関する指針】

（公財）日本スポーツ協会  
「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」（2019）より

暑さ指数は、環境省 热中症予防情報サイトで確認することができます。時刻とともに変化するので、こまめに確認しましょう。

熱中症予防情報サイト  
>全国の暑さ指数  
>北陸地方 新潟県 新潟  
>暑さ指数の実況と予測

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31℃以上 35℃未満	28以上 31未満	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10~20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
28℃以上 31℃未満	25以上 28未満	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24℃以上 28℃未満	21以上 25未満	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

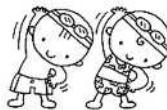
## チェックポイント③

### 3. 環境の整備

- 日よけ対策は行っているか
- プールの破損・亀裂はないか
- 石やガラス等の危険物、鳥の糞はないか
- プールサイドは滑りやすくなっていないか
- 排水溝の安全対策は行ったか

- プールの清掃と整理は行ったか
- プライバシーへの配慮は行っているか
- 監視場所に死角はないか
- 心肺蘇生法・AED操作や緊急時対応のフローチャートをプール付近で確認できるか

#### チェックポイント④



#### チェックポイント⑤

### 4. 活動前の確認

#### プール

- プールの環境は適切か
- 水深は年齢に応じて調整できているか
- 適正な遊離残留塩素濃度になっているか  
(遊離残留塩素濃度 0.4~1.0 mg/L)
- ゴミや窒息の危険のある玩具はないか

#### 子ども

- 体温・顔色・機嫌・便の状態はどうか
- 目ヤニ・充血・鼻水・発疹等はないか
- 傷はないか（出血、化膿はしていないか）
- 紋創膏や湿布を貼っていないか
- 水分補給は適切に行っているか
- 帽子を着用しているか
- 準備運動を行ったか
- シャワーで適切に体を洗ったか
- おしりに排せつ物が残っていないか

#### 職員

- 子どもへの安全指導は行ったか
- 職員の健康状態はどうか
- 職員の役割分担は決まっているか
- 人数を監視者に伝えたか

#### チェックポイント⑦

### 7. 活動後の確認

- ケガはないか
- 健康状態はどうか
- シャワーで体を洗ったか
- 体をしっかり拭いたか
- うがいをしたか
- 水分補給をしたか
- 保育室の室温は適切か
- 速やかにプールの水を排水し、子どもが入れない対策をとっているか

### 5. 準備物の用意

- 塩素剤
- 残留塩素測定器・試薬
- 気温計・水温計
- プール日誌
- 時計・携帯電話
- 救急用具（応急手当セット、毛布、バスタオル、笛等）
- AED は近くにあるか

子どもの手の届かない位置に保管

### 6. 活動中の確認

- 遊離残留塩素濃度を 30 分ごとに測定しているか
- 健康状態（顔色や身体の様子）はどうか
- 監視者はプール全域をくまなく監視しているか
- 子どもの人数を把握できているか



#### □ プール日誌に記録をしたか

プール日誌

年	月	日	(曜日)	天気
利用時間	時	分	時	分
クラス名				
入浴人数	入		入	
気温	°C		°C	
水温	°C		°C	
残留塩素測定 プール閉鎖時間の後	mg/L		mg/L	
消毒剤追加時間	時	分	時	分
消毒剤追加後の値	mg/L		mg/L	
監視者名				
備考				